

グループ改革、 自民党会派に合流!

みのり川信英議員は、昨秋の衆院選で初当選した無所属議員と共に衆議院内会派「グループ改革」を結成して活動してきましたが、六月四日にこれを解散し、自民党会派に合流しました。

先の衆院選では、我が秋田県にはこびる旧態依然とした利益誘導の構造を変えるべく「反利権政治」を旗印とし、これに同調する各方面からの支持を得て当選を果たした経緯があったため、一部には今回の自民合流に関して疑問視する声もありました。しかし信英君は「私が対決す

るのは、党派にかかわらず、利権にしがみついて政治をなごらるる人たちであり、秋田県を、そして日本を良くするために、まずこれを改革して行かなければならない」と、改革の意欲を一層燃やし、今まで以上に新しい政治のカタチを実現するために全力を尽くそうと、決意を新たにしています。

停滞する秋田県にとって、公共事業をはじめとする地域経済活性化のための施策は必要なことです。しかしこれまで



自民 復党への経緯

結果的に自民党現職と対立するかたちとなりましたが、故人英文氏の旧後援会の方々の熱烈な支援と、停滞する秋田県に新しい政治の風を期待する大勢の人々の力を得て、見事初当選を飾ることが出来ました。

当選後は、同じように自民党現職を破った新人議員五人(後に四人)でグループ改革を結成して国会活動を行ってききましたが、基本的な政策では与党とほぼ共同歩調をとり、小泉内閣の政治改革を推進し協力する立場をとってきました。このことから六月四日に安倍晋三幹事長の斡旋により、グループ改革のメンバー全員が衆議院内での自民党会派入り求められ、八月には同幹事長の推薦のもと、正式に入党が決まりました。

故みのり川英文氏の遺志を継いで国政に挑戦した信英君でしたが、その道のりは平坦なものではありませんでした。

故人は、自由民主党の職員から自民党県議を経て国会議員となった生粋の党人派です。そのもとで長い間秘書を務めてきた信英君でしたが、出馬に当たっては旧態依然とした利益誘導型の政治を改革すべく世代交代を訴え、自民党を離党して無所属で臨みました。

は、利益を誘導する一部の政治家とそれに群がる特定の人たちのためのものではいかありませんでした。政治家が家業を持つことを頑なに拒んで政治の道一筋に身を捧げた故英文氏の遺志を確かに受け継ぎ、与党自民党のもとで、真に地域住民のことを考えた公明正大で平等な政策を推進し、明るい秋田、力強い日本を築いてくれることを強く期待します。



御法川氏(左から2人目)の自民党入りを発表する野田田会長(中央)ら。秋田市のホテル

次期衆院選に絡み秋田3区 支部長人事が焦点に

川入 氏 自 民 党
御法川 氏 自 民 党

自民党秋田県本部は、次期衆院選に絡み、秋田3区支部長人事が焦点に。川入氏、御法川氏、野田田会長の3人が、それぞれ支部長に就任する見込みです。川入氏は、秋田県本部の副部長として、支部長に就任する見込みです。御法川氏は、秋田県本部の副部長として、支部長に就任する見込みです。野田田氏は、秋田県本部の副部長として、支部長に就任する見込みです。

▲8/8(日) 秋田さきがけ朝刊

そして決断と前進!



今回の自民復党を機に、今度とは与党議員の立場として、秋田県にとって大切な農林水産業の振興や地域経済の活性化などの幅広い分野において、生活者や自治体の声を国政に運ぶと共に、信英君の専門分野とも言える外交や防衛政策等においても若い力を遺憾なく発揮し、日本の国の舵取りをしっかりと任せられる国会議員に成長するよう強く期待しています。